

平成31年度 上田市立東小学校 グランドデザイン

学校長の願い

「誰もが安心して楽しく過ごせる東小学校にするために」

- ① 「違いや特性を認め合える あたたかな学級」を作ります
- ② 「探究型の楽しく分かる授業の創出」に努めます
- ③ 「安全・安全な学校づくり」を保護者・地域の協力を得ながら推進します

学校教育目標

よく気づき
よく考え
よく働き
進んで学ぶ子ども

具体目標

- 1 自分で気づき 自分で考え 進んで学ぶ子ども(向上心)
- 2 よく働き 最後までやりぬく子ども(意志力)
- 3 手足を動かし 頭を働かせ 豊かに感じとれる子ども(豊かな情操)
- 4 一人一人のよさを認め 助け合える子ども(共生)
- 5 安全に気をつけ 進んで身体をきたえる子ども(健康安全)

保護者の願い

- 落ち着いた授業・力がつく授業
- 学校の様子がよく分かる通信
- いつでも開かれている相談窓口
- 通うのが楽しいと感じられる学校
- 成長を実感できる学校行事
- 学校でも、地域でも、進んでできる挨拶

体 健康な体を育む

願う子どもの姿	体みがき	もっとやりたい	できた
	自分の体が持っている力を知り、高めようとする子	体を動かすことが好きな子	どうしたらできるだろうと考えられる子
手立て	体幹を鍛える全校体育の導入と外部講師との連携。自分の体力カードを使って課題把握と自己評価をする	サーキットへの効果的な補助動作を取り入れて、それによる運動時間を確保する	授業の振り返りに書く活動を取り入れる(ポイント、次時のめあて)

知 学力向上の基礎をつくる

「なぜ」と「できた」	学ぶからだ	自分をみつめる
「わかった」「できた」と手応えを感じながら学習に取り組む子	「なんでだろう」「どうなってるのだろう」「やってみよう」を大事に学び深める子	自分の姿を見つめ返し、よさやがんばりたいことに気づく子
問題解決的に追究する探究型授業と基礎・基本を身につける習熟補完授業とを両立させる	クラスの中核になるような活動を位置づけ、子どもたちが主体的、探究的に学ぶ場を設ける	「紡ぐ」で自分の一日を振り返ると共に、必要な学習の計画を立てる場を設ける

徳 豊かな心を育てる

聴く	あいさつ	清掃
友だちの考えをよく聴いて受け止め、自分の考えを持てる子	自分からあいさつができる子	始めの音楽から終わりの音楽まで無言で清掃に取り組める子
学年に合った良い聴き方を提示する	学級活動や児童会であいさつについて考える場を設定する	音楽を合図としたそうじの時間の意識づけを振り返りカードを活用し行う

【今年度の重点】 豊かな学力(自ら学ぶ力・基礎基本)

学力向上プラン

学力向上に関わる課題の共通理解

- ・なぜそうなるのかと探求的に学ぶ態度の向上
- ・基礎基本の確実な定着
- ・家庭学習に取り組む習慣の向上

数値目標を設定し、授業改善や学力向上を評価(授業評価児童アンケート)

- ・「自分から進んで調べたり考えたりしているか」⇒80%
- ・「自分から意見を言うことができているか」⇒70%
- ・「授業では、なぜ・どうしてと考えることがたくさんあるか」⇒80%

教職員の指導力向上のための研修

- ・研究体制を学年研究とし、互いに授業を見合う中で質の向上を図る
- ・ゾーン担当主事派遣を活用し、研鑽の機会を持つ
- ・特に算数科において、外部講師を招聘し具体的な授業作りの視点から考え合う
- ・全国学調の早期採点、NRT分析を通し、授業の良さと課題を明確にする

<東小の伝統・特色>

- クラブ活動をはじめとした学社連携の取り組みの歴史
- 全員が集まったのめあて確認から始める清掃
- 開かれた学校を目指す「学校へ行こう週間」
- 上級生が手本を示す「朝清掃」「落ち葉拾い」「雪かき」
- 個別相談の充実「夏休み希望懇談会」「児童相談日」
- 教育支援の充実(特別支援学級・虹のかけはし、各学級での個に寄り添った指導)

<東小を支える環境>

- 中央公民館や市立図書館等の文化施設
- 7年1組ふれあい見守り隊活動による地域との連携
- 東小祭など活発なPTA活動
- 外国籍児童が学ぶ虹のかけはし(集中日本語教室)
- 地域講師の授業参加(コミュニティースクール)
- 学校に隣接する児童クラブ

<学級づくりの基盤> 「ひとり」「ひとつ」を大切に作る学級

わからないことや困ったことを声に出せる人間関係づくり